

事業報告

令和5年度事業報告

【(公財) 下松市水産振興基金協会】

1 基本方針について

当協会は、水産資源の維持拡大を図るために栽培漁業事業を推進し、地域漁業経営の恒久的安定及び海面利用と地域産業の調和ある発展に寄与し、地域社会の健全な発展を図ることを目的とし、以下の公益目的事業及び収益事業を適切に実施しました。

2 公益目的事業と収益事業について

(1) 公益目的事業

当協会の定款にある「水産資源の維持拡大のための種苗生産及び中間育成に関する事業」、「漁場環境保全及び漁業経営安定に関する種苗生産放流事業」で得た飼育技術を基に、「魚介類の生産技術、生産管理の向上及び観光資源としての養殖に関する事業」及び「栽培漁業推進に関する調査研究及び啓発に関する事業」を行うことで、山口県知事から公益認定を受けた公益目的事業の“水産資源の維持拡大・観光資源等の生産及び栽培漁業の推進に関する事業”を実施しました。

また、公益目的事業の実施に必要となる「施設の管理運営に関する事業」及び「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」も実施しました。生産の効率化を図り、指定管理仕様書等に則って、下松市と協議をし、指示された事業を実施しました。

(2) 収益事業

定款にある「水産資源の維持拡大のための種苗生産及び中間育成に関する事業」、「魚介類の生産技術、生産管理の向上及び観光資源としての養殖に関する事業」を行うことで、山口県知事から認定された収益事業の“水産資源の維持拡大に関する事業”を実施しました。

また、収益事業の実施に必要とする「施設の管理運営に関する事業」及び「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」を行いました。事業の効率化を図り、資源の有効利用を促進しました。

3 個別の事業内容について

(1) 公益目的事業

水産資源の維持拡大・観光資源等の生産及び栽培漁業の推進に関する事業

本事業は、近海の漁獲量の増大や魚食普及を図るために、“種苗生産、

放流及び配布事業”、“中間育成放流及び配布事業”を実施することで、地域あるいは、山口県の水産資源の維持拡大を図るものです。

また、“栽培漁業、魚食推進及び観光資源生産に関する広報啓発事業”を実施することで、水産資源の維持拡大に寄与するだけでなく、観光資源の安定的な生産と配布を行うことで、産業振興並びに観光振興を図ることができます。

事業の推進にあたって、当協会が長年実施してきた魚介類の栽培漁業事業と養殖事業で培ってきた技術や経験を活かして、水産資源の確保に寄与しながら、地域の観光振興に貢献しました。

公益目的事業を実施するにあたり、以下の[1]から[4]の4つの事業に分類しました。

[1] 種苗生産、放流及び配布事業

【事業概要と目的】

他では技術的に対応が困難な魚種の親魚の育成、採卵、孵化、育成の実施、新魚種の開発等の生産技術の向上を図るとともに、指定管理で指定された種苗の周南地区海域への放流、漁協や行政への配布を行い、水産資源拡大及び漁獲量の安定化を目指して栽培漁業を推進しました。

【内容】

指定管理で指定された種苗生産魚(魚種、数量)を生産するために、当協会が管理する下松市栽培漁業センターにおいて、魚類の採卵、孵化、中間育成並びに放流を一貫とした種苗生産事業を実施しました。

種苗生産技術の開発及び向上を図るとともに、共第77号共同漁業権海域(周南地区海域)を中心に放流し、下松市に要望があった漁協や行政等への配布を実施しました。

【指定管理で指定された対象魚種】

マコガレイ、オニオコゼ、キジハタ、アイナメ、ウマヅラハギ

【事業明細】

資料：8ページ 別表1

[2] 中間育成、放流及び配布事業

【事業概要と目的】

地元漁業者からの要望が高い指定管理で指定された種苗(魚種、数量)を中間育成、育成技術の研究、周南地区海域への放流、行政への配布を行いました。共第77号共同漁業権海域(周南地区海域)の水産資源の拡大及び漁獲量を安定させ、漁業経営の安定化を図りました。

た。

【内容】

関係機関(山口県栽培漁業公社等)から種苗を購入し中間育成を行い、周南地区へ放流するとともに下松市に生産の要望があった地区への配布を実施しました。

【指定管理で指定された対象魚介類】

クルマエビ、ガザミ、ヒラメ、アワビ、トラフグ、カサゴ、アカガイ、ヨシエビ

【事業明細】

資料：9 ページ 別表 2

[3] 養殖技術の保持及び観光資源等に関する事業

【事業概要と目的】

養殖技術の保持、養殖技術の指導及び改善のための試験研究を行い、水産資源及び観光資源の生産のための養殖魚生産及び配布を行いました。

【内容】

指定管理で指定されたヒラメ種苗、トラフグ種苗及びマサバ種苗を購入し、陸上水槽と海上筏(トラフグ、マサバ種苗については主に海上の田の字筏)で育成し、養殖技術の指導及び技術改善のための試験研究を行いました。ヒラメは一年を通して出荷し、トラフグは漁業者の出荷時期の端境期を補う時期に指定管理で指定された観光資源として安定的に配布しました。マサバは、地元漁業者が漁獲した中に出荷対象にならない未利用魚を活用して、販売可能なサイズまで、品質改良しながら養殖試験を行い出荷しました。

品質開発にあたっては、飲食店および市場に提供し適正価格等を見据えたマーケティングも行いました。また、マアジの育成飼料の開発と育成方法の研究も引き続き実施しています。

観光資源となるその成果品の出荷を行うことで、下松市の観光資源の生産が維持され市内観光施設等へ安定的に配布することができました。

【対象魚種】

① 指定管理で指定されたヒラメの養殖技術の指導及び改善のための試験研究等の事業

・下松市の代表的な水産資源、観光資源であるヒラメの試験研究のための試験養殖を行い、指定管理で指定された配布先へ配布しました。

② 指定管理で指定されたトラフグの養殖技術の指導及び改善のための試験研究等の事業

・下松市の代表的な水産資源、観光資源であるトラフグの試験研究のための養殖を行い、指定管理で指定された配布先へ配布しました。

③ 地元漁獲物の未利用魚の養殖技術の開発及び改善のための試験研究等の事業

・漁業者の所得の向上を目的として地元漁獲物の未利用魚の有効活用を試験研究し、漁業者へ新たな養殖魚として啓発する試験養殖をしました。成果品は下松市から指示された出荷先へ配布しました。

・また、この事業で地元特産品開発を行うことで、それを用いて広報啓発活動を実施し、観光振興に貢献するとともに、笠戸島観光客及び下松市観光客の施設見学の受け入れを積極的に行い、一般市民の方々の栽培漁業への理解の向上と魚食普及の推進を図りました。

【対象者】

養殖業者等、他の水産研究機関等、市内観光施設等、一般(市主催等イベント用の提供)

【実施方法】

ヒラメ : 種苗を購入し、陸上水槽及び海上(田の字筏)で育成しました。

トラフグ : 種苗を購入し、成育状況と歩留まりの向上及び魚病対策に関する技術研究を行いました。

マサバ : 地元の漁業者から、出荷対象にならない未利用魚を購入して、成育状況と歩留まりの向上及び魚病対策に関する技術研究を行いました。

マアジ : 地元の漁業者から集めた天然種苗を肉質改善のために育成飼料の開発、選定を中心に飼育研究を行いました。

【事業明細】

資料 : ヒラメ- 10 ページ 別表 3-①

トラフグ-10 ページ 別表 3-②

マサバ- 10 ページ 別表 3-③

マアジ- 10 ページ 別表 3-④

[4] 栽培漁業広報啓発事業

【事業概要と目的】

水産教室(出前講座)、魚(笠戸ひらめ)のさばき方教室、職場体験

の受入、餌やり体験、放流体験、施設の見学者の受入、地元のイベントへの参加などを行い、多くの方々に栽培漁業に関する広報啓発することで、水産業への理解や関心をより深めていただき、水産業の発展に貢献しました。

【内容1】

栽培漁業についての水産教室(出前講座)の実施や魚(笠戸ひらめ)のさばき方の体験教室を開催し、啓発活動する事業を行いました。

【対象者】

小中学生及び各団体の来館者や、出前講座の依頼があった学校及び団体等

【費用、参加費】

出前講座……無料(但し、謝礼金が発生する場合もある。)

“笠戸ひらめ”のさばき方体験教室 実費

【内容2】

水産業に対する理解を深めるために、下松市栽培漁業センターで飼育するヒラメ等の餌やり体験と放流体験を実施しました。

【参加費】

無料

【事業明細】

資料：11・12 ページ 別表 4

(2) 収益事業

水産資源の維持拡大に関する事業

本事業は、公益目的事業で生じた余剰の成果品を有効活用するために公益認定範疇以外に供給する事業と「施設の管理運営に関する事業」及び「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」を行いました。

これらの収益事業を実施するにあたり、以下の[1]から[5]の5つの事業に分類しました。

[1] 種苗生産、放流及び供給事業

【事業概要と目的】

指定管理で指定された公益目的事業の安定的な生産に向けた数量の確保から生じた生産努力分を、水産資源の有効利用及び経営の安定化のために収益事業として供給しました。

【内容】

指定管理で指定された種苗生産魚の数量以外の種苗を供給しました。

【対象魚種】

マコガレイ、キジハタ、オニオコゼ、アイナメ、ウマツラハギ

【対象者】

県外行政機関、漁協及びその他の事業者

【事業明細】

資料：13 ページ 別表 5-①

[2] 中間育成、放流及び供給事業

【事業概要と目的】

指定管理で指定された公益目的事業の安定的な生産に向けた数量の確保から生じた生産努力分を、水産資源の有効利用及び経営の安定化のために収益事業として供給しました。

【内容】

指定管理で指定された中間育成種苗の数量以外の種苗を供給しました。

【対象魚種】

アカガイ、ヒラメ

【対象者】

県外行政機関、漁協及びその他の事業者

【事業明細】

資料：13 ページ 別表 5-②

[3] 観光及び水産資源の有効利用に関する事業

【事業概要と目的】

指定管理で指定された養殖魚の数量以外の余剰分を水産資源の有効利用及び経営の安定化のために供給。

【内容】

ヒラメ、トラフグ、マサバ、マアジ養殖での余剰成果品を供給。

※令和5年度より全ての養殖魚は指定管理制度に基づき公益目的事業

[4] 栽培漁業広報啓発施設貸与に関する事業

【事業概要と目的】

栽培漁業広報啓発施設の効率的な管理運営を図るために、公益目的事業での施設の使用時以外の栽培漁業広報啓発施設の利活用をします。

【内容】

指定管理で指定された施設の貸出業務を行いました。

【対象者】

地域の団体及び個人等

【事業詳細】

施設の貸与について施設の使用申請書を作成し、申し込みを受け付けて施設の運用を行いました。指定管理者仕様書に従って利用料金を徴収し、また、施設貸与に関する免責条項については、下松市のそれに準拠し貸与の判断をしました。

※令和5年度利用者は86件634名

[5] 物品販売等に関する事業

【事業概要と目的】

施設の利用者に対して、再訪問を動機づけることで栽培漁業広報啓発事業の推進と水産業への理解と関心を高めることを目的とします。

【内容】

栽培漁業広報啓発のためのPRグッズ、笠戸ひらめの一夜干し等の物品販売を行いました。

また、施設の利用者の利便性を図るために飲料サービス等を業者に委託し、その手数料を徴収しました。

【対象者】

施設利用者

【事業詳細】

栽培漁業を含む水産業への理解と関心を高めるために、施設来訪者の利便性を向上させることで、再来訪のきっかけになるような物品を作成し販売しました。

※笠戸ひらめペア 33個
ヒラメの餌（ガチャガチャ） 7,975個
猫関連商品 133個 等
（ファイル・アルバム等）

I 公益目的事業

(a) 種苗生産、放流及び配布事業

魚種	出荷先	採卵数(粒)	計画	放流尾数		
マコガレイ	下松市	3,467,000	22,000	64,472		
	周南市		19,000	67,470		
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		5,000	5,260		
	(一財)徳山地区漁業振興基金		22,000	22,994		
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		8,000	9,473		
	山口市・吉山地区漁場利用整備協議会		2,000	2,000		
	岩国市 岩国市漁業協同組合		16,500	16,500		
	〃 通津漁業協同組合		1,000	1,000		
	〃 神代漁業協同組合		3,400	3,400		
	山口県漁業協同組合 吉佐支店山口支所		4,000	4,000		
	山口県漁業協同組合 大海支店		4,000	4,000		
	下関外海漁業共励会		5,000	5,000		
	武田薬品工業			150		
	山口県釣り団体協議会			2,276		
	東洋・みらい特定建設工事共同企業体			1,000		
	東亜・本間・りんかい日産特定建設工事共同企業体			1,000		
	周南市ボートレース事務局			6,363		
	計		3,467,000	111,900	216,358	
	令和5年度末尾数				754,000	
	オニオコゼ		下松市	1,707,000	12,000	25,707
〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		2,000	2,000			
周南市		10,000	10,277			
〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		2,750	2,750			
(一財)徳山地区漁業振興基金		8,000	8,000			
(一財)新南陽地区漁業振興基金		10,000	10,000			
下関外海漁業共励会		30,000	30,000			
周防大島町 久賀漁業協同組合		2,000	2,000			
山口県漁業協同組合 日良居支店		3,000	3,000			
〃 浮島支店		3,200	3,200			
岩国市 岩国市漁業協同組合		7,800	7,800			
〃 通津漁業協同組合		500	500			
〃 由宇漁業協同組合		3,500	3,500			
〃 柱島漁業協同組合		1,700	1,700			
岩国市漁業協同組合		8,000	8,000			
柱島漁業集落		5,000	5,000			
萩市 大島集落			3,000			
山口県漁業協同組合 大井支店			2,000			
周南地域栽培漁業推進協議会(PR事業)			135			
岩国市漁業協同組合(追加)			1,822			
計	1,707,000	109,450	130,391			
キジハタ	下松市	4,523,000	10,000	13,889		
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		2,000	2,373		
	周南市		14,000	16,043		
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		3,000	3,561		
	(一財)徳山地区漁業振興基金		12,000	12,000		
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		15,000	15,000		
	(公財)日本釣振興会(光)		3,000	3,000		
	岩国市 岩国市漁業協同組合		8,200	8,200		
	〃 通津漁業協同組合		500	500		
	〃 由宇漁業協同組合		1,000	1,300		
	〃 神代漁業協同組合		1,800	1,800		
	〃 柱島漁業協同組合		940	940		
	柱島漁業集落		3,500	4,100		
	下関外海漁業共励会		5,000	10,000		
	周南地域栽培漁業推進協議会(PR事業)			135		
	山口県釣り団体協議会			1,822		
	東亜建設工業			4,000		
	計		4,523,000	79,940	98,663	
	アイナメ		下松市	290,000	13,000	25,781
			周南市		5,000	5,000
〃 (追加)			2,542			
(一財)徳山地区漁業振興基金		9,400	9,400			
(一財)新南陽地区漁業振興基金		5,000	5,000			
岩国市 岩国市漁業協同組合		4,000	4,000			
柱島漁業集落		3,000	3,000			
光・熊毛地区栽培漁業協会		20,500	20,500			
東洋・みらい特定建設工事共同企業体			1,000			
東亜・本間・りんかい日産特定建設工事共同企業体			1,000			
下関外海漁業共励会			5,000			
計		290,000	59,900		82,223	
令和5年度末尾数					68,000	
ウマヅラハギ	下松市	1,000,000	25,000	32,678		
	周南市		5,000	6,579		
	山口県釣り団体協議会			1,822		
計	1,000,000	30,000	41,079			

別表2

(b) 中間育成、放流及び配布事業

魚種	出荷先	購入尾数	計画	放流尾数
クルマエビ	下松市	300,000	72,000	150,266
	周南市		30,000	46,543
	計		102,000	196,809
ガザミ	下松市	700,000	140,000	212,500
	周南市		131,200	149,691
	(一財)徳山地区漁業振興基金		90,000	90,000
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		10,000	10,000
	計		371,200	462,191
ヒラメ	下松市	130,000	20,000	23,234
	下松市(パイロット事業)		24,000	24,000
	周南市(パイロット事業)		48,000	49,125
	下関外海漁業共励会		15,000	15,000
	武田薬品工業株式会社			300
	計		107,000	111,659
アワビ	下松市	52,000	20,000	20,000
	周南市(周南地域栽培漁業推進協議会)		7,000	7,000
	(一財)徳山地区漁業振興基金		18,000	18,000
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		5,000	5,000
	山口県漁業協同組合 周南統括支店		2,000	1,800
	計		52,000	51,800
トラフグ	下松市	68,000	10,000	10,688
	周南市		18,000	18,452
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		8,000	8,202
	(一財)徳山地区漁業振興基金		15,000	15,377
	周南市(周南地域栽培漁業推進協議会)(大型)		2,000	2,029
	計		70,000	54,748
カサゴ	下松市	56,000	20,000	26,489
	周南市		5,000	7,672
	(一財)徳山地区漁業振興基金		8,000	8,000
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		8,000	8,000
	計		41,000	50,161
アカガイ・1 (R4年度導入群)	下松市	/	69,200	120,481
	周南市		30,000	42,050
	周南市(周南地域栽培漁業推進協議会)		20,000	49,696
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		20,000	20,000
	計		139,200	232,227
アカガイ・2 (R5年度導入群)	岩国市 由宇漁業協同組合	353,000	10,000	10,000
	柱島漁業集落		5,000	5,000
	山口県漁業協同組合 浮島支店		63,800	63,800
	〃 (追加)			50,000
	〃 安下庄支店			7,000
	由宇漁業協同組合			5,000
	計		78,800	140,800
令和5年度末尾数			150,000	
ヨシエビ	(一財)新南陽地区漁業振興基金	160,000	400,000	160,000
	計	160,000	400,000	160,000

(c) 養殖技術の保持及び観光資源等に関する事業

別表3-①

魚種	生産尾数	摘要		
ヒラメ	a	16,550	令和4年度末尾数	
	b	29,500	6,000	令和5年4月入荷
			3,000	令和5年5月入荷
			1,500	令和5年10月入荷
			10,000	令和5年11月入荷
			9,000	令和5年11月入荷
c	17,688	出荷		
d	12,079	斃死		
計	a+b-c-d	16,283	令和5年度末尾数	

別表3-②

魚種	生産尾数	摘要	
トラフグ	a	1,613	令和4年度末尾数
	b	1,500	令和5年6月入荷
	c	506	出荷
	d	944	斃死
計	a+b-c-d	1,663	令和5年度末尾数(2・3年魚)

別表3-③

魚種	生産尾数	摘要	
マサバ	a	1,082	令和4年度末尾数
	b	1,000	令和6年2月入荷
	c	719	出荷
	d	283	斃死
計	a+b-c-d	1,080	令和5年度末尾数

別表3-④

魚種	生産尾数	摘要	
マアジ	a	1,190	令和4年度末尾数
	b	—	
	c	43	出荷
	d	95	斃死
計	a+b-c-d	1,052	令和5年度末尾数

(d) 栽培漁業広報啓発事業

開催日	事業・行事名	内 容
5月19日(金) 6月20日(火) 10月13日(金) 10月17日(火)	海浜清掃・稚魚放流	日本釣振興会主催により、海浜清掃後、稚魚の放流をした。(175名)
5月24日(水)	Happy Kitchen	下松市健康増進課主催の健康教室の講師として依頼を受け、魚のさばき方と講話、調理実習のお手伝いをした。(12名)
6月3日(土) 7月13日(木) 8月26日(土)	海浜清掃・稚魚放流	武田薬品工業、吉山地区漁場利用調整協議会、山口県釣り団体協議会の主催で海浜清掃後、稚魚を放流した。(光市地元小学生、あじす保育園、愛隣幼児学園、平田保育園 138名)
7月7日(金)	海浜清掃・稚魚放流	周南市水産課主催で、周南市蛤島海岸において海浜清掃後、大型トラフグ稚魚を放流した。(鼓南小、鼓南中33名)
7月15日(土)	水産多面的機能発揮対策事業	山口県釣り団体協議会主催による、海浜清掃及び放流事業へ参加し、周南市刈尾において放流イベントを行った。(ボーイスカウト40名)
7月28日(金)	産業観光ツアー(親子)	周南地域の商工会議所主催で、一般市民の方々に地域に密着した地場の企業が多くある周南地域の施設見学と地域観光見学を組み合わせたツアー。施設説明と餌やり体験を行った。(親子20名)
8月5日(土)	くだまつ親子お魚体験ツアー	下松市魚食普及推進協議会主催で、市内在住の親子参加のもと、体験や見学を通じて地元で獲れる魚介類の魅力や美味しさを知ってもらい水産物の消費拡大に繋げることを目的とし、施設見学、ヒラメの稚魚放流、さばき方の実習を行った。(親子10名)
8月23日(水) 8月24日(木)	くだまつキャリアアップセミナー	下松市内小中学校の若手教職員の人材育成に係る社会体験の一環として、栽培漁業及び養殖作業に従事してもらった。(3名)
9月28日(木)	フィールドスタディ	企業の取り組みや高校の学びと社会の繋がりを目的とした「フィールドスタディ」を実施した。笠戸島の特産品、笠戸ひらめの歴史、今後の展望について話をした。(華陵高校2年生9名)
10月3日(火)	地域学習講話	学校や地域の様々な人との関わりを通してふるさとの良さに改めて気づきよりよい郷土を育み、郷土に貢献しようとする資質や能力を育成するための地域学習講話をした。(末武中1年生352名)
10月16日(月)	産業観光ツアー(一般)	周南地域の商工会議所主催で、一般市民の方々に地域に密着した地場の企業が多くある周南地域の施設見学と地域観光見学を組み合わせたツアーを実施した。また施設説明と餌やり体験を行った。(20名)

10月19日(木)	職業講話	総合的な学習の時間「未来への扉」でプロフェッショナルとして働いている生き方から自分の将来の夢や生き方について考える学習の一環として講師を依頼され水産業についての講話を行った。(公集小6年生130名)
10月20日(金)	地裁協イベント	周南地域栽培漁業推進協議会のイベントで、今回は雨天のため幼稚園内にて触る(鮮魚、活魚)見る(魚のさばき方)体験を行った。(江口幼稚園児と保護者130名)
10月25日(水)	施設見学・講話	水産施設調査(講座外実習)の一環で、栽培漁業の現場を視察、ヒラメの餌やり、生産等の説明をした。(水産大学校生物生産科3年生43名)
10月27日(金) 3月5日(火)	バス遠足	地元幼稚園の遠足の一環として、タッチングプール体験、ヒラメの餌やり、栽培漁業の話をした。(鋼鉄幼稚園、江口幼稚園115名)
11月8日(水)	共第77号海域種苗放流 地産地消PR事業	周南地域栽培漁業推進協議会主催で周南市長が再任されたので、水産資源普及のために下松・周南市長他関係者と共に共第77号海域にキジハタとオニオコゼ種苗を放流した。(30名)
12月3日(日)	まるごと笠戸島まつり	まるごと笠戸島まつり実行委員会主催により下松市栽培漁業センターにて開催した。小学生以下各部100名様限定で午前、午後の部と分けてクイズラリーを実施した。(700名)
12月3日(日)	ポテトマラソン	山口県釣り団体協議会主催、周南市大津島で開催されたマラソンのイベントとして、地元の小学生がキジハタ種苗を棧橋より放流した。(60名)
12月9日(土)	産業見学ツアーin笠戸島	下松市在住の小中学生保護者対象に、笠戸島内の事業所の見学を行った。当センターでは、業務内容の説明および餌やり体験を実施した。(親子74名)
年間	校外学習(出前講座)	県内の小・中・高校生等を対象に、栽培漁業と水産資源についての概要説明を各校に直接出張し啓蒙する事業。(周南市内小学校5校250名)
年間	社会科校外学習 (施設見学・餌やり体験)	来所の幼児・小・中・高校生等を対象に、栽培漁業と水産資源についての概要説明、施設見学及び餌やり体験を行う事業。(12校 632名)
年間	職場体験	コミュニケーション能力や働くことの大切さや楽しみを実感し主体的に進路選択をする能力を高めることなどを目的とした職場体験を受け入れた。(下松中2名、熊毛中2名、末武中4名)
年間	笠戸島観光客の施設見学	笠戸島観光客を対象に、随時施設見学を受け入れる事業であり、多くの県内外の方に来所していただき栽培漁業について理解をいただいた。(上記を含めて26,230名)

II 収益事業

(a) 種苗生産、放流及び供給事業

別表5-①

魚種	出荷先	採卵数	計画	出荷尾数	
マコガレイ	徳島県漁業協同組合連合会	1,591,000	16,000	16,000	
	(公財)日本釣振興会 兵庫県支部		20,100	20,100	
	(公財)日本釣振興会 中国支部		6,000	6,000	
	(公財)三重県水産振興事業団		15,400	15,300	
	(有)瀬戸活魚センター		48,000	50,000	
	熊本県水産研究センター		12,000	12,000	
	太平洋貿易(株)		15,600	0	
	広島県 江田島漁業協同組合		3,000	3,000	
	愛媛県 西条市		9,000	7,050	
	(公社)大分県漁業公社		200,000	200,000	
	計		1,591,000	345,100	329,450
	令和5年度末尾数				346,000
キジハタ	(公財)日本釣振興会 中国支部	1,301,000	3,000	3,000	
	岡山県 倉敷市		4,000	0	
	(有)瀬戸活魚センター		20,000	8,000	
	(公財)日本釣振興会 九州地区支部			5,000	
	(有)アイエスシー			2,200	
	(有)アイエスシー			180	
計	1,301,000	27,000	18,380		
アイナメ	神戸市漁業協同組合	40,000	10,000	10,000	
	計	40,000	10,000	10,000	
	令和5年度末尾数			10,000	
ウマヅラハギ	(有)瀬戸活魚センター			8,000	
	計		0	8,000	
オニオコゼ	(有)瀬戸活魚センター			5,000	
	計		0	5,000	

(b) 中間育成、放流及び供給事業

別表5-②

魚種	出荷先	購入尾数	計画	出荷尾数
アカガイ・1 (R4年度導入群)	福岡市漁業協同組合 姪浜支所		30,000	30,000
	(公財)大阪府漁業振興基金		50,000	50,000
	計		80,000	80,000
アカガイ・2 (R5年度導入群)	福井県 若狭高浜漁業協同組合	347,000	30,000	28,770
	〃 大島漁業協同組合		10,000	8,950
	兵庫県 善漁水産		30,000	30,000
	計		70,000	67,720
	令和5年度末尾数			
ヒラメ	(公財)日本釣振興会 中国支部		3,000	3,000
	計			3,000

Ⅲ 附属明細書について

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。